

資料02 医療情報システム一覧（調達グループ①）

大分類	業務分類	システム名	システムの概要（期待される効果）	現有資産状況（2024年3月末想定含む）		整備計画（調達グループ①）					
				現状	システム名（メーカー名）	補足	構築区分	調達対象	補足（主な仕様・条件）		
A:医療系システム	1 診療支援	1 電子カルテシステム（医科）	院内及び巡回診療等において、医師による診療録、その他の医療従事者による診療記録をデータベースとして一元的に電子保存・管理する機能。（従来の紙カルテが不要となる。）	-			新規	○			
		2 電子カルテシステム（歯科）	歯科医師による診療録、その他の医療従事者による診療記録をデータベースとして一元的に電子保存・管理する機能。（従来の紙カルテが不要となる。）	-			新規	○	電子カルテシステムと連携可能な製品として調達する。少なくとも、患者属性等連携し、医科カルテと同じ端末上で動作し、医科カルテから患者番号を連携して起動できること。サーバ、クライアント端末等のハードウェアは、電子カルテ全体として調達する。		
		3 オーダリングシステム	院内及び巡回診療等において、医師、歯科医師が、看護師や薬剤師など医療技術職に対して行う指示内容を直接パソコンに入力して正確にかつ迅速に各部門へ伝達する機能。（従来の伝票記載が不要となる。）	○	Medi-Aibis (BSNアイネット)	現状は処方のみ。		更新	○	電子カルテシステム（医科）と一体化製品として調達する。サーバ、クライアント端末等のハードウェアは、電子カルテシステム全体として調達する。	
		4 文書管理システム	紙媒体で作成された書類をスキャナ等で電子化し原本保管と閲覧を支援する機能。	-				新規	○	専用のシステム調達は想定せず、電子カルテの機能で実現可能な範囲で運用するが、新病院では紙文書の保管スペースを確保できないことから、スキャン文書に対し、タイムスタンプを付与して電子保存することを前提とし、電子カルテの機能で実現できない場合は、何らかの機能・システムを追加し実現すること。	
		5 診断書作成システム	生命保険会社向け診断書、行政向け提出書類など、定められた様式の文書の作成と管理を支援する機能。	-				-	-		
		6 汎用文書作成システム	院内定義様式の文書等、診療に関連する文書の作成と管理を支援する機能。	△	EXCEL (マイクロソフト)	佐渡市貸与の情報系PCにインストールされたEXCELで運用中。		-	-	電子カルテの基本機能としてEXCEL/WORDを利用しない場合は、別途ライセンスを調達する。電子カルテシステムのクライアント端末上で利用することを想定。	
	2 D P C	1 DPC支援システム	DPC病名のコーディング、様式1の作成と、データ提出加算に必要な各種データの作成を支援する機能。	○	様式1入力支援ソフト (PRISM：厚労省)	SWは無料ダウンロードし、佐渡市貸与と特殊系PC上で運用中。		継続	△	原則として既存システムを継続利用とするが、電子カルテシステム又は医事会計システムの機能で実現できる場合はそちらを利用する。実現できない場合は、既存のソフトウェアを電子カルテ端末上で稼働させる。 ※既存ソフトウェアを継続利用する場合は、電子カルテ端末へのインストール作業までを調達に含める。	
		2 Hファイル入力支援システム	DPC調査におけるHファイル（日ごとの患者状態）の作成と、提出データの作成を支援する機能。	○	Hファイル入力支援ソフト (PRISM：厚労省)	SWは無料ダウンロードし、佐渡市貸与と特殊系PC上で運用中。		継続	△	原則として既存システムを継続利用とするが、電子カルテシステム又は医事会計システムの機能で実現できる場合はそちらを利用する。実現できない場合は、既存のソフトウェアを電子カルテ端末上で稼働させる。 ※既存ソフトウェアを継続利用する場合は、電子カルテ端末へのインストール作業までを調達に含める。	
	3 看護	1 看護支援システム	1 看護支援システム	看護計画から看護記録、ADLや褥瘡、看護必要度など、看護業務に関するあらゆる情報を共有できる機能。（より手厚いチームナースングに期待できる。）	-	EXCEL (マイクロソフト)	看護サマリー、看護計画、ケアカンファ等は佐渡市貸与の情報系PCにインストールされたEXCELで運用中。		新規	○	電子カルテシステム（医科）と一体化製品として調達する。サーバ、クライアント端末等のハードウェアは、電子カルテシステム全体として調達する。
			2 看護勤務管理システム	看護職員の勤務予定の作成、勤務実績の管理を行う機能。	-				先行更新	●	令和6年度に先行導入予定の看護勤務管理システムを新病院でも継続利用（移設）する想定とし、新病院稼働時には、電子カルテシステムとの連携を実現する。

資料02 医療情報システム一覧（調達グループ①）

大分類	業務分類	システム名	システムの概要（期待される効果）	現有資産状況（2024年3月末想定含む）			整備計画（調達グループ①）			
				現状	システム名（メーカー名）	補足	情報区分	調達対象	補足（主な仕様・条件）	
4	医事会計	1 医事会計システム	患者情報や請求・入金情報を管理する機能。（医科向け電子カルテシステムへの患者情報の伝達と医科電子カルテシステムからの実績情報を受け取る。）	○	IBARS II (BSNアイネット)	システムは令和4年末に保守終了となる。端末は令和3年12月に更新済み。	更新	○	更新対象とする。 クライアント端末についてR3年更新済みであるため、新規調達メーカにより可能であれば新システムで再利用する。再利用不可の場合は、必要数の端末を電子カルテシステムと合わせて調達し、既存の端末は他の用途で再利用する。	
		2 歯科会計システム	患者情報や請求・入金情報を管理する機能。（歯科向け電子カルテシステムへの患者情報の伝達と歯科電子カルテシステムからの実績情報を受け取る。）	○	DENTALフレンドASP (BSNアイネット)	佐渡市貸与の情報系PC上で稼働中。	更新	○	更新対象とする。 端末については医科電子カルテシステムとの相乗り、若しくはHIS系LAN上での専用端末とする。	
		3 レセプトチェックシステム	診療報酬請求における正確なレセプトの作成及びレセプトの点検作業（院内審査）の効率化を支援する機能。	○	レセプト博士 NEO (BSNアイネット)	令和3年度に更新済み。	継続	△	更新対象とする。 システムは継続利用とし、新規調達の電子カルテ端末上で稼働させる。 新規端末上で稼働させるための費用を調達範囲に含める。	
		4 オンライン資格確認システム	マイナンバーカードを使ったオンライン資格確認（マイナンバーカードのICチップまたは健康保険証の記号番号等により、オンラインで資格情報を確認）する機能。	○	？ (BSNアイネット)	令和3年度に導入。	継続	△	システムは継続利用とする。新規調達の医事会計システムと連携するようにする。 ※継続システムとの連携費用を調達範囲に含める。	
		5 レセプト電算システム	診療報酬の保険者へのオンライン請求を支援する機能。	○	- (BSNアイネット)		更新	○	医科・歯科のレセプト電算処理を、医事会計システムと一体として調達のする。	
		6 診察券発行システム	診察券に患者基本情報を書き込むシステム。	○	- (BSNアイネット)	平成23年度に導入後更新無し。	更新	○		
	5	患者サポート	1 再来受付システム（再来受付機）	再来患者を受け付け、受付番号を発券する機能。（従来の窓口受付より時間短縮が見込める。）	-			新規	○	再来受付機×2台を想定。
			2 自動精算システム（自動精算機）	入院、外来、健診等の診療費を支払う（収納する）機能。（従来の窓口精算より時間短縮が見込める。）	-			新規	○	自動精算機×1台を想定。
			3 キャッシュレスカード・スマホ決済システム	ICチップ搭載のキャッシュレスカードやスマートフォンを使って支払決済を行う機能。	-			新規	○	少なくとも、5-2 自動精算システムにおいて、クレジットカード決済に対応させる。
			4 案内表示板システム	患者の診察番号をモニターに表示して、診察室への呼び込みや診察の進行状況をお知らせする機能。（診察までの待ち時間状況を知らせることで患者サービス向上が図れ、番号で診察室に呼び込むことでプライバシーに配慮できる。）	-			新規	○	案内表示の種別 ・外来案内表示（診察状況表示）×2台 ・診察室呼び入れ表示（診察室前の表示）×6台 ・会計番号表示×1台 薬の引き渡しは患者名で呼び込むため、薬番号表示は不要。
			5 リモート面会システム	入院患者や家族、友人とWebで面会を行う機能。	○	dタブレット (ドコモ)		継続	-	
	6	放射線診断	1 放射線部門システム（簡易RIS）	検査予約や患者受付、照射録管理、統計などの撮影情報をデータベース化し管理する機能。（業務の効率化が見込める。）	-			新規	○	放射線検査の受付・実施機能までを実現する。 原則として専用のシステムを導入するのではなく、電子カルテの部門機能等により受付・実施を行う。 ※電子カルテシステムに部門機能が無い場合は、部門システム（機能）を追加する。
			2 医用画像管理システム（PACS+MWM）	検査した画像をデジタルデータで受信、保存・データベース化し、端末からのリクエストで指定の画像配信する機能。（フィルムレス化が可能となる。）	○	SYNAPSE Ws-U (富士フイルムメディカル)	システムは2010年に導入。2019年にHWとライセンスを更新済み。	更新	●	放射線検査画像の管理機能（PACS機能）、画像ビューア機能、および放射線撮影装置へ検査情報送信（MWM機能）までを実現する。
			3 放射線レポートシステム	放射線部門画像の読影レポートを入力、保存し、院内に配信する機能。（業務の効率化が見込める。）	-			新規	●	内視鏡レポートへの対応のため、レポート機能を導入する。 ただし、主治医自身が読影を行うため、レポート作成は放射線レポート機能を利用するか、電子カルテの所見機能で運用するか導入時に運用を決定する。
			4 3D医用画像処理ワークステーション	CT等から得られる医用画像をもとに三次元医用画像処理などを行い生体組織の動きを可視化、計測、画質の改善などを行う機能。	-			更新	□	現在のWSと同様に、CT装置とまとめて調達のする。
			5 被ばく線量管理システム	医療法改正で義務化された、放射線検査機器等の被ばく線量の管理および記録業務を支援する機能。	-			-	-	
	7	検体検査	1 検体検査システム	検査受付、検査結果、統計などの検査情報をデータベース化し管理する機能。（業務の効率化が見込める。）	○	CLIP (オービシステム)	平成24年度に導入後更新無し。	先行更新	△	老朽化に伴い、現病院で更新を行い、更新後のシステムを移設する。 ※電子カルテの本調達は、継続利用となるシステムとの接続費用（本調達システム側）を調達範囲に含める。
			2 検査結果報告システム（外注検査用）	外注検査機関からの検査結果を登録し、検査報告書を出力する機能。	○	LAB-CAST (BML)	外注検査会社による無償貸与で運用中。	継続	-	外注検査会社所有のため、そのまま継続する。更新が必要な場合は、検査会社の負担にて更新する。 ※検査依頼の送信、検査結果の受信に伴い、データ授受に必要な機能を、検体検査システム側で対応する。

資料02 医療情報システム一覧（調達グループ①）

大分類	業務分類	システム名	システムの概要（期待される効果）	現有資産状況（2024年3月末想定含む）			整備計画（調達グループ①）			
				現状	システム名（メーカー名）	補足	構築区分	調達対象	補足（主な仕様・条件）	
医療情報システム	細菌検査	1 細菌検査システム	検査指示に基づき、細菌培養同定検査の結果を管理するシステム。	○	SMILE-STB (BECKMAN COULTER)	平成31年に導入。HW保守が5年間のため、新病院前に更新が必要となる。	継続	△	システムは継続利用とする。端末等のハードウェアは新病院前に必要であれば更新を済ませる。 ※電子カルテの本調達では、継続利用となるシステムとの接続費用（本調達システム側）を調達範囲に含める。	
		生理検査	1 生理検査システム	検査予約や患者受付、検査結果、統計などの検査情報をデータベース化し管理する機能。（業務の効率化が見込める。）	-			-	-	実施入力は電子カルテの機能で実現する。 検査装置の結果（非DICOM画像、PDF等）は、文書管理システムでの管理とし、超音波検査等の画像はDICOM画像として医療画像管理システムで管理する。
			2 検査データビューア	心電図データの表示・保存を行う機能。	○	FEV-75 (フクダ電子)	心電図のみ。 令和3年度に導入。	継続	△	システムは継続利用とする。 ※電子カルテの本調達では、継続利用となるシステムとの接続費用（本調達システム側）を調達範囲に含める。
	3 超音波レポートシステム		超音波検査のレポート（所見）を入力、保存し、院内に配信する機能。	-			-	-	専用のシステム調達は想定しない。 ※電子カルテシステムの所見機能あるいはレポート等文書作成機能を利用して運用する。 現状と同様、超音波検査装置はDICOM方式により画像をPACSで管理する。	
	内視鏡	1 内視鏡検査システム	検査の予約管理や患者の到着確認、検査の実施確認、検査結果の蓄積、検査結果の上位システムであるオーダリングシステムへの返信などをサポートする機能。（業務の効率化が見込める。）	-			-	-	内視鏡画像はPACSで管理し、実施入力を電子カルテの機能で実現する。 内視鏡レポートは放射線レポートシステム機能のカスタマイズ、または電子カルテの所見・文書作成機能で運用する。	
	輸血	1 輸血管理システム	輸血製剤の管理業務を支援する機能。	-			新規	○	専用のシステムの調達は想定しない。 ※電子カルテシステムとして提供可能な輸血機能の範囲で運用する。	
	薬剤	1 調剤支援システム	医薬品情報、過去処方歴を蓄積し、重複の警告、用量・用法チェック、処方薬-疾患（原疾患・既往症）相互チェックを行う機能。（安全性を確保できる。）	○	調剤支援システム (TOSHO)	調剤支援システムには、処方解析システム、薬袋発行システム、散薬監査システム、全自動錠剤分包システムを含む。 2021年3月にサーバー更新済み。	継続	●	新病院に合わせて電子カルテと連携するための機能を追加する。 （合わせて、一部機器を更新する。）	
		2 注射支援システム	注射指示に基づき注射箋、注射ラベルの発行、注射歴の管理等を行う機能。	-			新規	●	調剤支援（処方）システムの電子カルテ連携と合わせて注射支援機能を導入する。	
		3 服薬指導管理システム	指導予定から実施までの進捗と記録管理、及び持参薬の鑑別を支援する機能。（指導内容と併せて、患者が抱えている問題等を共有することが可能となる。）	-			-	-	専用のシステム調達は想定しない。 ※服薬指導の記録作成・管理については、電子カルテの機能で対応可能な範囲で運用する。	
		4 医薬品情報管理システム	医薬品に関する情報を収集・整理し、専門的に評価・分析する機能。（院内情報発信し、共有化を行う。）	-			新規	○	処方・注射オーダー時の薬剤チェック機能に必要となるため調達範囲に含める。 ※電子カルテ機能の標準（又はオプション）機能で実現できるのであれば、専用のシステムは調達しない。	
		5 薬品管理システム	医薬品の在庫管理や使用状況を管理する機能。（過剰な購入を抑制し、適正な在庫管理が可能となる。）	○	MEDIフレンド (BSNアイネット)	令和3年度に更新。	継続	-	新潟県でのオンライン発注システムに対応するため、現行システムを移設して継続利用する。 ※電子カルテシステムとの連携は想定しない。	
		6 持参薬管理システム	持参薬に対する鑑別、報告、継続処方の指示等の業務を支援する機能。	-			-	-	専用のシステム調達は想定しない。 ※持参薬の管理については、電子カルテの機能で対応可能な範囲で運用する。	
		7 持参薬鑑別支援装置システム	画像認識技術により、持参薬の状態（パッケージの刻印・プリント・形状・色調など）を解析し、候補薬品を選び出す機能。	-			-	-	調達を見送る。 ※現状運用通り、目視により確認する運用を想定。	
	リハビリ	1 リハビリシステム	リハビリ予定、実施計画書、リハビリ記録の作成や検査評価など、リハビリ業務全般を支援する機能。（業務の効率化が見込める。）	-			新規	○		
	栄養管理	1 栄養部門システム	メニューや食数管理を行う機能。（業務の効率化が見込める。）	○	DIETフレンド (BSNアイネット)	現状は給食機能のみ。 平成24年に導入後更新無し。	更新	○	新病院に合わせてシステムを更新する。	
2 栄養計算システム		栄養価計算を行う機能。	○	The!栄養計算 (不明：CD-ROMで配布)	佐渡市貸与の情報系PC上で運用中。	廃止	-	栄養部門システムの機能で実現する。		
健診	1 健診システム	健診および人間ドックの予約・受診者受付、検査結果等の入力および判定、契約企業や自治体等への報告書提出、健診後の追跡調査、医療データの蓄積、検索、統計処理などを支援する機能。（業務の効率化が見込める。）	○	Kenshin (BSNアイネット)	令和元年度に導入。	更新	○			

資料02 医療情報システム一覧（調達グループ①）

大分類	業務分類	システム名	システムの概要（期待される効果）	現有資産状況（2024年3月末想定含む）			整備計画（調達グループ①）		
				現状	システム名（メーカー名）	補足	構築区分	調達対象	補足（主な仕様・条件）
16	紹介管理	1 紹介管理システム	紹介状の受付、紹介状内容の管理、逆紹介における紹介状（診療情報提供書）の作成・管理等を支援する機能。	-			-	-	専用システムの調達は想定しない。 ※電子カルテの機能で対応可能な範囲での運用を想定する。
		2 画像入出力システム	診療情報提供としての画像データを可搬型メディア（CD等）を経由して、画像管理システムへの読み込み・書き込みを行う機能。	○	AOC（アレイ）	PACSと同時に平成22年度に導入後更新無し。	更新	●	医用画像管理システム（PACS）関連システムとして、あるいは紹介管理関連システムとして画像データの入出力機能を実現するためのシステムを導入する。
17	感染管理	1 感染症検査業務支援システム	感染症検査業務の進捗管理、感染管理に必要な統計資料の作成を支援する機能。	-			-	-	専用システムの調達は想定しない。 ※従来通り、システムを利用しない運用を想定。
18	遠隔診療	1 遠隔画像診断システム	院内の放射線診断装置で得られた画像情報を、遠隔地の読影医により閲覧、診断を行うとともに、診断結果の報告を行う機能。	○	遠隔読影システム（ダイヤメディカルネット）	令和3年度に導入。利用料支払方式で遠隔画像診断サービスを利用中。	継続	△	移設して継続利用する。 ※現状と同様に医用画像管理システム（PACS）との連携を行う。
		2 遠隔病理診断システム	病理検査等の診断を提携する大学病院等と接続し、遠隔画像診断を可能とする機能。（迅速な診断が図れる。）	-			-	-	
19	訪問診療	1 訪問診療支援システム	携帯型端末により病院内の電子カルテの情報の閲覧、入力などを支援する機能。（巡回診療での診療支援および業務改善が見込める。）	-			-	-	専用システムの調達は想定しない。 ※電子カルテの機能で対応可能な範囲での運用を想定する。
		2 訪問看護支援システム	携帯型端末により病院内の電子カルテの情報の閲覧、入力などを支援する機能。（巡回診療での診療支援および業務改善が見込める。）	-			-	-	専用システムの調達は想定しない。 ※電子カルテの機能で対応可能な範囲での運用を想定する。
20	医療機器管理	1 医療機器管理システム	医療機器の点検、修理、導入・廃棄の管理業務を支援する機能。	-			-	-	専用システムの調達は想定しない。 ※従来通り、システムを利用しない運用を想定。
21	中材	1 診療材料管理システム	診療材料等の発注・納品管理、在庫管理を行う機能。	○	プ子在庫管理（※フリーソフト）	佐渡市貸与の情報系PCで運用中。	先行更新	-	老朽化に伴い、現病院で更新を行い、更新後のシステムを移設する。 ※電子カルテとの連携は想定しない。
22	医療安全	1 医療安全管理システム	インシデントレポート、ヒヤリハット等、医療安全活動を支援する機能。	△	EXCEL	佐渡市貸与の情報系PCで運用中。	-	-	
		2 ストレスチェックシステム	改正労働安全衛生法に基づく、ストレスチェックの受検、結果出力、集団分析などを行う。	○	ストレスチェック実施プログラム（厚生労働省）	佐渡市貸与の情報系PCで運用中。	継続	-	厚生労働省サイトからダウンロードするものであるため、今回の調達からは除外する。
23	地域医療連携	1 地域医療連携システム	地域（佐渡島内）の病院・診療所・歯科診療所・調剤薬局・介護施設を双方に結び、患者の情報を共有・活用する仕組み。	○	ひまわりネット（佐渡地域医療連携推進協議会）	平成25年度に導入し毎年度更新中。	継続	△	さどひまわりネットへの接続内容は、現状相当（医事会計システム・検体検査システム・画像管理システム）を想定する。

資料02 医療情報システム一覧（調達グループ①）

大分類	業務分類	システム名	システムの概要（期待される効果）	現有資産状況（2024年3月末想定含む）			整備計画（調達グループ①）		
				現状	システム名（メーカー名）	補足	構築区分	調達対象	補足（主な仕様・条件）
B:介護・福祉系システム	1	在宅支援システム	介護予防サービス・居宅サービス・施設サービス等の介護事業を全般的に支援する機能。（医療保険と介護保険の情報を共有することも可能。）	○	Quickけあ Ver.2 (アイディーディレクター)	令和元年度に導入。	継続	-	移設して継続利用する。
	2	介護保険主治医意見書作成支援システム	要介護認定を行うための一次判定や介護認定審査会での審査判定の資料となる主治医意見書（主治医が申請者の疾病や負傷の状況などについての意見を記す資料）の作成を支援する機能。	○	MCWEL (富士通)	SW・HW共に佐渡市高齢福祉課介護保険係が費用負担にて調達。 佐渡市貸与の基幹系PC上で運用中。	継続	-	継続利用とする。 ※調達元が佐渡市高齢福祉課介護保険係であるため、本調達外となる。 継続的に更新が行われているため、今回の調達とは別に管理する。
	3	介護支援専門員意見書作成支援システム	介護施設への入所等で求められる介護支援専門員意見書の作成を支援する機能。	-			-	-	専用システムの調達は想定しない。 ※電子カルテの機能で対応可能な範囲での運用を想定する。
C:運営管理系システム	1	財務会計システム	財務会計及び関連する業務を支援する機能。	○	SOFIA (BSNアイネット)	平成26年度に導入後更新無し。 相川病院と共同利用中。	継続	-	継続利用とする。 ※相川病院との共同利用の方向性により、何らかの変更（更新）が必要であれば、本調達とは別に予算化して対応する。 電子カルテシステムとの連携は想定しない。
	2	(行政) 情報システム	佐渡市が構築する、行政系情報およびインターネット閲覧のための仕組み。	○	情報システム (佐渡市)	佐渡市貸与として運用中。	継続	-	継続利用とする。 ※端末は佐渡市貸与であるため、更新・追加等が必要であれば、本調達とは別に予算化して対応する。
D:共通・インフラ系システム	1	セキュリティ対策システム	院内情報端末に対するセキュリティ対策（ウイルス対策、デバイス制御等）を行う機能。	-			新規	○	サーバー、クライアント共にセキュリティ対策を実施すること。
	2	日本語辞書システム	医療辞書及び入力時の定型文登録などの入力操作を支援する機能。	-			新規	○	少なくとも電子カルテの全ての端末に医療辞書を導入すること。 個人辞書（個別に登録した辞書）は、どこの端末からも同じように利用できること（ローミングできること）。
	3	ファイル共有システム	電子カルテ等医療系システムと同じネットワーク上で汎用電子データ（文書等）を共有・保管するためのシステム。	-			新規	○	

- ：今回の調達範囲（システム一式、接続費用、データ移行費用等含む）
- △：今回の調達では既存又は先行更新等システムとの連携費用のみを含む。
- ：今回の調達と平行して別途更新・新規導入を予定のシステムとの連携費用のみを含む。
- ：今回の調達では別途調達（医療機器予算）システムとの連携費用のみを含む。